

令和6年 能登半島地震に伴う災害派遣行動について



活動場所：石川県（金沢市・輪島市）



輪島市の市章

令和6年1月1日に発生した「令和6年能登半島地震」に伴い、石川県（能登半島エリア）や富山県等の各自治体の水道施設が破損し、大規模な断水が断続的に発生していることから、日本水道協会の要請により応急給水活動を下記の日程で行いました。

活動日程：令和6年1月26日（金）～令和6年1月31日（水）

活動場所：石川県金沢市・輪島市（門前町）

活動内容：応急給水活動

活動体制：職員4名（上下水道部水道課職員4名、下水道課1名で途中1名が交代）

給水車1台（2m³）、サポートカー1台（応急給水作業に使用する道具等の運搬）

移動距離約2,000 km

水道給水対策本部が設置されている金沢市企業局（右の写真）

- 横浜市が主導する現地給水隊が設置されている



応急給水活動状況

※断水情報及び図面は日本水道協会から提供のありました資料を引用しています。

右の図は日本水道協会が取りまとめました1月27日現在の断水場所と応急給水活動を実施している自治体を表しています。

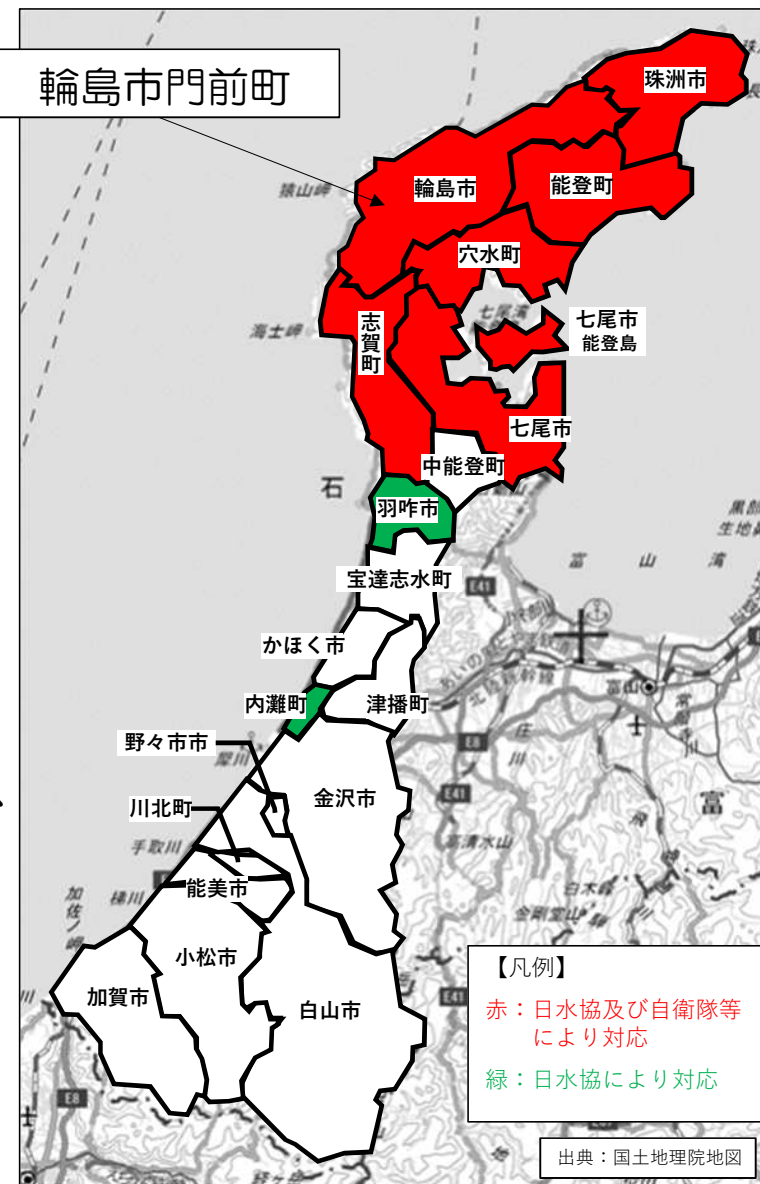
赤色で着色されている自治体は日本水道協会及び自衛隊等により対応を実施しているところで、緑色で着色されている自治体は日本水道協会のみで対応を実施している場所となります。

輪島市では約10,000戸が断水しており、石川県の報告では水道施設復旧の見通しは3月下旬頃としています。

私たち派遣職員は、応急給水隊として1月26日に水道給水対策本部が設置されている金沢市企業局に向かい、応急給水活動先や給水活動を行う施設等の説明を受け、活動先は輪島市の門前町の避難施設での応急給水活動を指示されました。また、本市の活動の前に応急給水活動を行っていた、秩父市広域市町村圏組合の職員から現地での作業方法や現地の状況等の引継ぎを受けました。

応急給水活動は、毎朝9時からの給水開始までに現地に到着し、作業を開始することが定められています。宿泊地は金沢市内で門前町までは片道約100kmあることから、毎朝6時に出発しています。

これは、能登半島の奥へ行くほど道路が損壊し、通行できる道路に制約があることから、移動速度が遅くなるため遅れることの無いように出発しています。



被害の状況

能登半島の奥へ進むにつれ道路状況は悪くなり、活動を行う門前町では、家屋の倒壊や橋や道路の損壊の他、下水道のマンホールの浮上などが発生していました。



1階部分が押し潰され倒壊した家屋



擁壁が崩壊し道路を塞ぐ



橋と道路に段差が発生



マンホールが浮上し段差が発生



橋に添架した水道管が曲る



応急給水活動の計画

門前町での応急給水計画は、門前町内に配置した給水タンク（仮設水槽）に定期的に補水し、避難所等に給水に来る被災者へ水道水を供給するものです。

門前町では21箇所に給水タンク（仮設水槽）が配置され、このタンクに4つの事業者が水道水を供給する作業を行いました。

○給水拠点（給水タンク配置箇所）

- 劔地公民館・諸岡公民館・門前中学校
- 診療所別館・阿岸公民館・門前西小学校
- 門前東小学校・浦上公民館・黒島公民館
- 門前公民館・下本郷・門前分署
- 健民体育館・輪島、穴水クリーンセンター
- 七浦公民館・特別養護老人ホームあかかみ
- ふれあい工房あぎし・大和医院
- グループホームもんぜん楓の家
- ゆきわりそう（特別養護老人ホーム）
- 瀬戸医院・松風台保育所（諸岡公民館と併用）

全21箇所（松風台保育園は計画外給水地点）

※赤字は本庄市が担当した場所

○派遣期間内に門前町で給水活動を実施していた事業者

- 本庄市（埼玉県）
- かずさ水道広域連合企業団（千葉県）
- 高崎市（群馬県）
- 日立市（茨城県）



全国各地から集結した給水車

給水拠点箇所図



活動の状況

水道給水対策本部から指示のありました避難所等へ応急給水活動を行いました。
到着日に金沢市企業局城北水質管理センターにて給水車に補水を行い、門前町へ運搬し各給水地点にある給水タンク（仮設水槽）に給水を行いました。



①金沢市企業局城北水質管理センターで補水の状況



②諸岡公民館で給水の状況



③松風台保育所の給水場所



④門前東小学校で給水の状況



⑤東京都が提供している給水タンク（仮設水槽）1㎡の水道水が貯められます。



⑥門前公民館で給水の状況



⑦門前中学校で給水の状況



⑧瀬戸医院で給水の状況



⑨活動場所から10kmほど離れた輪島市地原浄水場で、給水車へ補水の状況



⑩仮設水槽の蛇口の状況

今回の活動を生かした本庄市の取り組み

これまでの審議会では、今後想定される大規模地震対策として浄水場や配水場の他、配水管の耐震化の必要性についてご説明し、これらを実施するための費用を確保するために、現在、審議委員の皆様にご水道料金の見直しについてご審議していただいております。

今回の能登半島地震での水道施設の被害状況については、まだ全容が解明されておられませんと同様な地震が本市で発生した場合は、広域的な断水が断続的に発生することが想定されます。

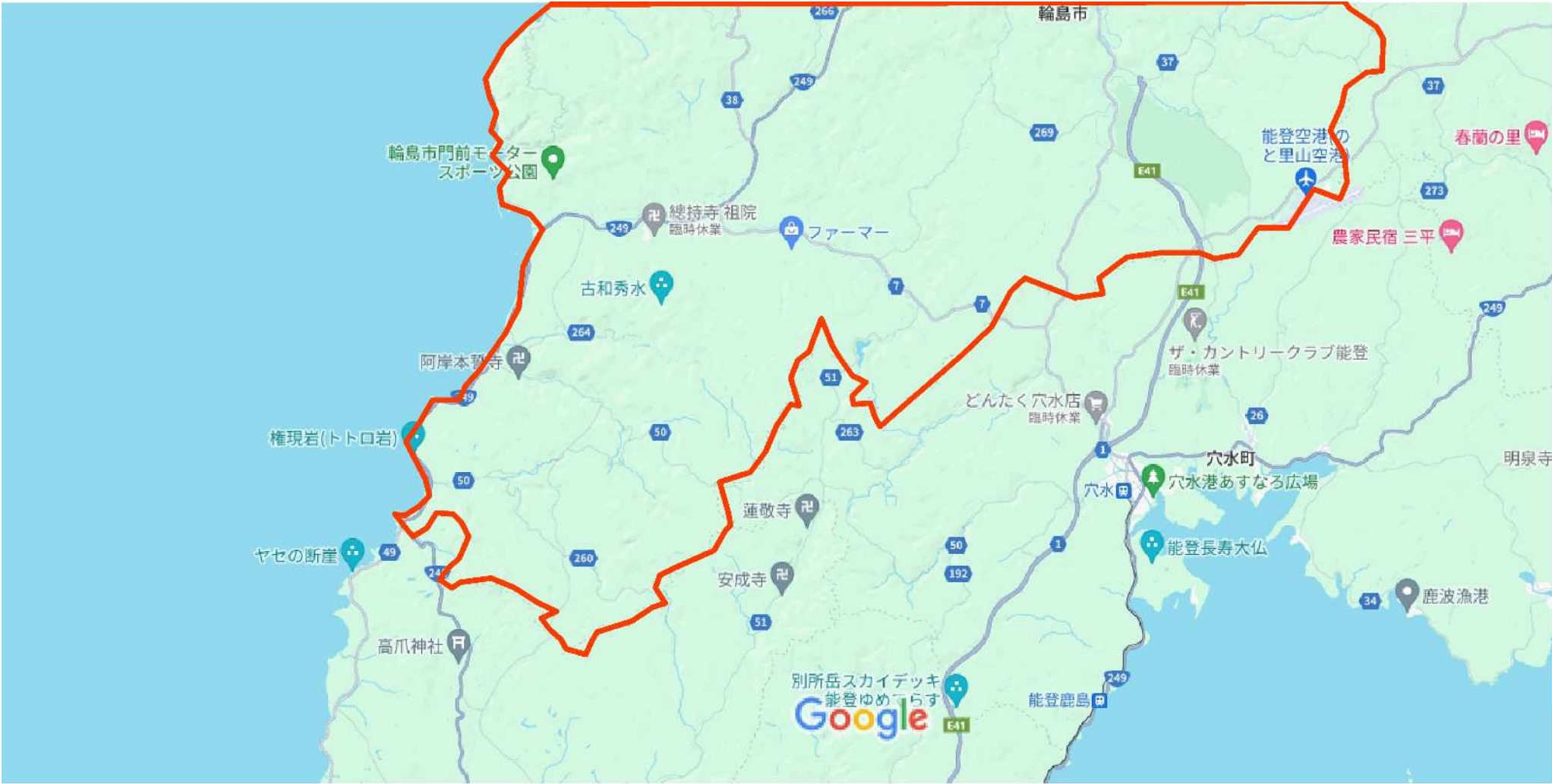
今回の災害派遣で実施した応急給水活動は、この様な断続的に断水が発生した場合に必要な行動と考えています。

今回活動しました経験を活かし、今後、水道施設の耐震化を確実に進めるとともに、同様な被害を想定し応急給水袋や給水タンク（仮設水槽）などの「応急給水設備の拡充」や「他事業者からの応援体制の受け入れ」を速やかに実施できるようにするため、応急給水マニュアルの策定や給水車への補水が迅速に行える施設の見直しなど進め、「災害に強い水道」に取り組んで参りたいと考えております。

報告は以上となります。

輪島市門前町（広域図）

【参考資料】



輪島市門前町（広域図）

【参考資料】



地図データ ©2024 1 km

令和6年1月27日現在

日本水道協会がまとめた断水戸数と応急給水の活動状況の資料

事業体名	断水戸数	日本水道協会	自衛隊	国土交通省	
七尾市	約15,400戸	36台	2台		
輪島市	約10,000戸	24台	18台		
珠洲市	約4,800戸	5台	11台	2台	
志賀町	約5,200戸	※輪島市と合わせて運用	2台	2台	
穴水町	約2,800戸	14台	4台		
能登町	約5,300戸	15台	5台	1台	
羽咋市	約85戸	1台			
内灘町	約760戸	1台			
小計		96台	42台	5台	
合計	約44,345戸				143台